



子どもたちの様子で
こんなことはありませんか？



行動面

- 落ち着きがなかったり、思いついたらすぐに行動してしまう。
- 順番が待てない。
- 片付けや準備が苦手だったり、忘れ物が多い。
- 決まったやり方にこだわり、変化に対して不安や抵抗が強い。
- 手先が不器用だったり、走り方がぎこちない。
- 気持ちや考えを切り替えることが苦手である。

など

対人関係

- 同年齢の集団で友達関係を作るのが苦手。
- 相手の気持ちに気づかず、一方的に話してしまうことが多い。
- 冗談を真に受けて落ち込んだり、ケンカになってしまうことが多い。
- 場の雰囲気が読み取れない。

など

学習面

- 知的な遅れはないのに、学習がうまく進まない。
- 鏡文字を書いたり、音読が極端に苦手など読み書きの問題が顕著。
- あちこちに注意が散って学習に集中することが難しい。

など

子どもたちの成長のスピードはそれぞれ違います。

お子さんに上記のような様子があり心配されてはいませんか？

1つ1つは、子どもの性格や、発達の状況によって一時的にみられることがあります、日常生活に支障をきたすような場合は、発達障がいの特徴によるものかもしれません。

発達障がいは年齢や生活環境、親の育て方が原因で生じるものではありません。生まれつき脳の情報処理の仕方にちがいがあり、脳機能の発達にアンバランスさがあるのが特徴です。

周囲のおとなが本人の特徴を理解して日々の育ちを応援することで、生まれ持った能力を最大限に発揮して成長することができます。

